

## 第52回あわら市議会定例会一般質問通告一覧

平成23年3月1日

(通告順)

### 1 笹原 幸信 議員

あわら市の人口減について

(答弁を求める者 市長)

- ・国勢調査速報値によれば人口が3万人を割っているが、減少の要因は何か。
- ・市長の公約である「若い世代が住み、生き、育てたくなるまちづくり」は進んでいるのか。
- ・上記の公約の中に年少人口比率向上を政策の価値基準にし、各分野の政策に指向性を与えたいとなっているが、年少人口比率は向上しているのか。
- ・人口減による交付税の減額はどのくらいになるのか。
- ・市として合併時の要件の人口3万人を死守しなければならないと思うがどうか。

国民健康保険税について

(答弁を求める者 市長)

- ・国民健康保険の状況が極端に悪化しているがどのように対処するのか。
- ・社会保険にはない資産割等があり保険税が高額になっているのではないかと。
- ・滞納が増えているのは一概に言えないが、税が高いためもあるのではないかと。
- ・あわら市は県内の他市町と比べると医療費が高いと言われているが、その原因の究明と対策はどのようにになっているのか。

### 2 吉田 太一 議員

キッズガードについて

(答弁を求める者 教育長)

- ・過去3回の定例会一般質問で、教育長からは保護者からの要望があれば検討したい旨の回答があったと理解しているがどうか。
- ・見守り隊だけで子どもたちの安全が守れると考えているのか。
- ・緊急メールシステムの契約内容はどのようになっているのか。
- ・個人情報を守られているか。

あわら市の教育行政全般について

(答弁を求める者 教育長)

- ・二学期制度を小学校にも取り入れる予定はあるのか。
- ・新年度に向けての補助教員はどのようになっているのか。
- ・給食センター施設整備計画事業において、自校方式とセンター方式にかかる費用で約3億円の違いがあるが、何を基準に計算したのか。安全基準は守られているのか。

あわら市の観光行政について

(答弁を求める者 経済産業部長)

- ・インバウンドの取り組みとして、広域圏での連携が必要と考えるがどうか。
- ・多目的広場の目玉として足湯をつくるべきではないか。
- ・指定管理者の指定についてどう考えているか。

3 三上 薫 議員

危機せまる高齢化社会について (答弁を求める者 市長)

- ・災害時要援護者支援制度は機能しているのか。
- ・制度の利用状況実態を把握して有効化に努めるべきであると考えがどうか。
- ・買い物難民の救済として、民間と連携した移動販売サービスシステムが必要と考えるがどうか。
- ・当市では高齢化に向けて厳しい現実が迫っているが、現実を直視した施策を行うべきと考えるがどうか。

高知県香美市との友好交流推進について (答弁を求める者 市長)

- ・姉妹都市締結以来行われている物産展交流でどのような成果があったか。
- ・物産展交流では職員レベルでの交流にとどまっているがどう考えるか。
- ・文化交流やスポーツ交流など今後の具体的な計画はどうなっているのか。
- ・民間交流へと友好交流の輪を広げていくべきであると考えがどうか。
- ・姉妹都市交流協議会の設置やまたは事務局を民間団体に委託してはどうか。
- ・災害時応援協定が締結されているが、災害時のシミュレーションを行っているか。

4 牧田 孝男 議員

市道の除雪について (答弁を求める者 市長)

- ・市道の除雪では地域差や市道の形状などにより除雪の進捗状況に差が生じているがどう考えるか。

5 山川知一郎 議員

高齢者対策について (答弁を求める者 市長)

- ・「若者が住み、生み、育てたくなるまち」のためには、老後の安心が必要であるが、住みやすく、誰でも安心して介護を受けられるように、介護保険事業の改善と市独自の介護（予防）支援を強化すべきと考えるがどうか。

芦原温泉上水道財産区のあり方について

(答弁を求める者 市長、財産区管理者)

- ・財産区について、合併時にどのような協議がなされたか。
- ・財産区の現状をどう考え、今後、どうしようと考えているのか。

6 北島 登 議員

あわら市地域防災計画について (答弁を求める者 市長)

- ・整備内容及び計画の進捗状況はどのようになっているのか。